

戦論で増税・復興・TPP

今週の国会
志位委員長 1日に

今週の国会は、野田首相の所信表明と第3次補正予算案に対して、衆参両院の本会議で各党の代表質問が31日から始まります。日本共産党からは志位和夫委員長が1日に質問に立ちます。

所信表明で野田首相は、震災復興や原発災害対策で具体策が乏しい一方、復興増税、原発再稼働、環太平洋連携協定（TPP）、新基地建設など重大問題について国民に説明もしないまま突き進む姿勢を示しました。

日本共産党は、国民に説明もせず、財界とアメリカ直結の政治を突き進むことは許されないと批判。TPP協定参加について、「食料主権と経済主権をアメリカに売り渡す亡国の政治」（志位和夫委員長）だとして、暴走阻止の一点で政党の垣根を越えて共同を呼びかけています。

政府が提出した第3次補正予算案は、復興財源を庶民増税で賄い、大企業には減税をばらまく内容です。

日本共産党は、財源は震災復興と原発被害対策に立て分けて確保することを提起。震災復興は大企業・大資産家への減税ばらまきや浪費にメスを入れて確保し、原発災害対策は「原発埋蔵金」の活用を主張しています。3次補正予算案について民主党は、7日からの週内に成立させ

たいとして衆院予算委員会と2日間の審議で採決をと主張。野党側は集中審議などを求めており、引き続き協議が行われます。

2011年10月30日(日)「しんぶん赤旗」

橋下・「維新の会」による独裁政治「ノー」の審判を

日本共産党大阪府委員会が共同よびかけ

日本共産党大阪府委員会（山口勝利委員長）は29日、「橋下徹府知事・『維新の会』によるファッショ的な独裁政治に『ノー』の審判を下すため、府民の広大な共同を」とのアピールを発表しました。

橋下知事の大阪市長選（11月13日告示）へのくらし替え出馬で、知事選（同日告示）との同日選挙（27日投票）となりました。

アピールは、橋下氏と「維新の会」が大阪を足場に「全国進出」をもちかろうという権力的野望をむき出しにしていることを指摘し、橋下氏らによる独裁政治を許すかどうかの重大な歴史的局面を迎えていると述べています。政治と社会の閉塞（へいそく）感を逆手にとって、「システムを変え」「強いリーダーをつくらせてこそ政治を変えることができる」との幻想をあり、「政敵」を排除して、ファッショ・独裁政治を確立しようとしていると指摘しています。

そのファッショ性を誰の目にも明らかにしたのが「教育基本条例案」と「職員基本条例案」であり、とくに「教育基本条例案」は「政治が教育に全面介入して教育を首長と議会多数派の独裁下におく制度的仕組みをつくりあげる危険きわまらないもの」と告発しています。

橋下氏らのファッショ的独裁の本性が見抜かれ始め、府民のなかから大きな危惧と怒りの声があきおこりつつあること、これまでの政治的立場の違いを超えて、「大阪は独裁・橋下知事に屈しない」の声が広がり、知事選・市長選の様相を変えつつあると強調。「府民の広大な共同を党派の垣根をこえてつくりあげ、『橋下独裁政治ノー』の審判を下そう」とよびかけています。

2011年10月30日(日)「しんぶん赤旗」

70〜74歳

患者負担 倍に
厚労省提案薬の全額負担も

厚生労働省は26日の社会保障審議会

東日本地震への

救援募金に「協力」を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。

【郵便振替口座】

00170017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。「協力」よろしくお願いします。

磯城郡日本共産党議員団

医療保険部会で、70〜74歳の患者負担を、かかった医療費の1割（現行）から2割に倍増する案を示しました。また、医師が処方する薬の患者負担（現行は現役世代3割）について、市販品に似た薬がある場合は保険外（全額自己負担）とする案を示しました。

70〜74歳の患者負担については、特定の時期に70歳になる人から順次2割負担へ引き上げ、5年かけて70〜74歳の全員を2割負担にする計画です（「現役並み所得者」は現在も3割）。引き上げの開始時期は明示しませんでした。

70〜74歳の患者負担増は2006年に小泉内閣によって医療改悪法に盛り込まれました。08年の後期高齢者医療制度導入と同時に実施する予定でしたが、国民の反発で福田内閣が凍結。毎年約2000億円の国費を投入し1割負担に据え置いてきました。2割への引き上げは、自公政権でさえやれなかった改悪です。

薬の保険外しについては、薬の有用度に応じて患者の負担割合を変える例や、処方される薬の種類の数によって患者負担を増やす例も示しました。委員からは「国民の理解をえることは難しい」との反対意見が続出しました。

2011年10月27日

日本共産党発行
しんぶん赤旗
日刊●月3,400円
日曜版●月800円

日本共産党演説会

日時 11月6日(日)
午後 2時～
ところ 奈良100年会館
市田忠義書記局長が
お話しします。

皇太子ご奉迎

今日二十一日、皇太子「集落を維持発展させが田原本町に来られるるために、水との共生のうです。県からご奉迎の接点である環濠の維持保案内をいただきました。全に絶え間ない努力が払育樹祭参加のついでに唐い続けられたことに注目古・鍵考古学ミュージアムを見学されるそうです。う評価には共感しました。二年前の三月、トルコご奉迎で「日の丸」をで開かれた第五回世界水振ることはありませんが、フォーラムで「人と水と本町に注目されている事の密接なつながり」と題を町ピーアールに使わせて水と災害に焦点をあてていただこうと思っいてて講演されました。そます。

の時、「唐古・鍵遺跡の 当日は、スピーカーの環濠集落は、『弥生都市』 乗った自転車や自動車は、とも呼ぶべきこの時代を 青垣生涯学習センターに代表する中心地の一つと 乗り入れることはご法度される」幾重にも張り巡らされた環濠が、洪水調さ。整池として被害を軽減する役割と水質浄化機能を果たしたと紹介されまし

た。
田原本町議会議員
吉田 容上



市民共同発電所

今号から十一月ですね。 残念ながら人類は持つて気温もだいたい下がって来 ない事を福島原発事故はまして、下は一ヶ台に けですから、太陽光など入り始めましたから、ぼ の再生可能エネルギーへちぼち、冬物の衣類や暖 と、原発に取って代わる房器具の準備をせなあき 電源を開発促進する事が 課せられている使命です。ませんね。 そうした中、冬場の電 力の確保をどうするのか、 国の取り組みはもとよ冬場は夏以上に電力需要 組み大いに地に足を着け が伸びるそうで、夏場と た物へとして行かねばな 違い一日二回のピークを りません。何せ、日本の 迎えるようですので、乗 再生可能エネルギーの潜 力切った夏以上に節電対 在能力は原発の何と四十 策が必要になりそうです 倍にも達します。

で、肝心の電源ですが、 多くの皆さんの協力を 募り、太陽光の市民共同 どう言う訳か野田首相は、 発電所の設置をこの川西 安全が確保されれば原発 町でも取り組もうと、私 再稼働の意向を示しては 是議会で提起 します。しかし、その安 しています 全を確保する肝心の術を

川西町議会議員
芝 和也



22年度決算

「22年度の決算で県内の自治体、120億円の黒字」と先日の新聞で報道されました。

21年度決算では経常収支比率が100%を超えた自治体は6団体ありましたが、22年度決算では14年ぶりにゼロのなつたと報じています。

三宅町の22年度会計決算については町の広報(11月号)にも掲載されています。(表参照)合計二億二千五百二十四万五千の黒字となっています。積立金の取り崩しや町債の増減などを詳しく見てみないとわかりませんが、一般会計で一億五

| | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|-------------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 3,884,528 | 3,734,407 | 150,121 |
| 国民健康保険会計 | 856,349 | 790,090 | 66,259 |
| 老人保健特別会計 | 8,827 | 8,827 | 0 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 75,796 | 75,789 | 7 |
| 介護保険特別会計 | 539,369 | 530,545 | 8,824 |
| 公共下水道事業特別会計 | 372,432 | 372,398 | 34 |
| 合計 | 5,737,301 | 5,512,056 | 225,245 |

千万円も単年度で黒字になつている原因はなんでしょうか。
三宅町
池田 年夫



おいしい新米

昨年引き続き、私達は日本共産党で田原本町の「ひのひかり」を斡旋しました。

精米した後、5kgつつ袋詰めし、配達するのは中々大変でしたが「おいしかったわ!」という一言で疲れも吹き飛び、昨年より多い注文数でした。よりおいしく食べて頂くために三十日号の「しんぶん赤旗」日曜版の「保温したご飯のにおい」の記事を紹介します。

「ご飯の保温による嫌なにおいの生成を防ぐには『炊きたての熱々の状態のまま冷凍するのがお勧め』ラップは密閉性が高いので、ご飯を包むと

香りが逃げません。冷まして冷蔵庫へ。電子レンジで解凍すれば炊き立ての香りが再現できます。また、炊飯器で長時間保温するより、余ったご飯を一食ずつ冷凍保存して食べる分だけ再加熱する方が、電気代の節約にもつながります」私もこの方法で、美味しく頂いています。

田原本町の農家の皆さん、こんなにおいしいお米を作って頂いて、本当に有難うございます。余りのおいしさに、ついつい食べ過ぎてしまうのが困りものです。

田原本町議会議員
森 良子

